

合格体験記

愛知教育大学 学校教員養成課程 高等学校教育専攻 英語専修 合格

山本 裕一郎(46 回生)

安城市立桜井中学校出身

僕は、業後や土日の自主学習に参加することで、自分を勉強に集中できる環境に置きました。同じように受験勉強に力を入れている仲間が近くにいることで、自分も頑張ろうという気持ちになり、勉強が捗りました。また、土日の自学は1コマが100分なので、大学の90分授業に対する練習にもなりました。1学期の頃は1カ月以上休むことなく毎日登校することがとても大変だと思っていましたが、最終的には自学がなくて学校にいけない日が少し寂しかったように思えます。

受験勉強で大変だったことは、共通テストに向けた最後の追い上げの時期を乗り越えることでした。共通テストは科目数が多いので、やるべきことがたくさんありました。本番まで残り僅かであるのに、問題を解くたびに復習するべきところが次々と出てきたときは焦りや不安を感じました。やりきれなかったという気持ちを捨て、本番に最高のパフォーマンスをするために、本当にやるべきことを絞って勉強しました。これは気持ちの面だけでなく、勉強効率の面でも良い効果があったと思います。また、自学に毎日参加したということや、友達と励まし合ったということが、僕の心の支えになりました。

僕は塾に通っていなかったのですが、代わりに課外授業に積極的に参加しました。自分の勉強だけでは気づけなかった解き方や改善点が見つかり、とても役に立ちました。しかし、少し失敗したことがあります。それは課外を取りすぎた結果、復習が追い付かなくなってしまったということです。僕はひとつの復習に時間をかけすぎてしまうので、本当に取るべき課外を見極めるべきだったと思いました。

最後に、大学受験をする上で大切なことは、「すべてを完璧にしようと無理をしないこと」、

「本番に向けて気持ちを高め合える友達がいること」だと僕は考えます。これから大学受験をする方々は、心も体も健康な状態で、受験生活を切り抜けていってください。